

たきおっ子

～一人一人が輝き、「笑顔」あふれる滝尾小～

御船町立滝尾小学校 学校だより
第20号 平成30年9月21日(金)
たきおっ子の生活信条：
「たのしく、きたえて、おおらかに」
学級数7、在籍児童数：60名
文責：(校長) 河地浩太郎

「水俣病から宝物を伝えるプログラム」を開催

先週の金曜日(14日)、県の事業の一環である標記プログラムが、本校4～6年生児童を対象に行われました。水俣市にある「ほっとはうす」から、施設長の加藤さん、そして胎児性水俣病患者の永本さん、松永さん、溝口さんが来られ、ほっとはうすのことや、患者のみなさんが生まれてからこれまでつらい経験をされたことなどを話されました。子どもたちは、みんな真剣な表情で聞いていました。

後半の質問コーナーでは、楽しみなことや好きなこと、特技、好きな場所などを子どもから尋ねたりして、和気藹々とした雰囲気の中で交流ができました。また、休憩時間中は、習字が得意な溝口さんが、難しい漢字(例えば、薔薇)を手本を見ないでサッと書かれるのに、みんなびっくりしていました。最後は、テーマ曲「海」を歌い、そして、患者の方々と握手をしてお別れをしました。午後からの90分程度の時間ではありましたが、子ども達の心に残る経験ができたのではないかと思います。これからも、熊本県の人権課題の一つとして捉えていってこれたらと思います。



※裏面に、子どもたちの感想を載せています。

健康な心身づくりのために

朝夕、だいぶ涼しくなってきましたが、季節の変わり目は、体調を崩しやすい時季でもあります。今年の6月に実施した生活アンケートの結果によると、「就寝、朝食、テレビ等の視聴」については、以下のようになっています。「早寝・早起き・朝ご飯」で規則正しい生活のリズムをつくるのが、健康な心身づくりにつながると思いますので、ご家庭での声かけをよろしくお願いいたします。

【アンケート結果(学校全体)】

Q1 夜、ねるのは、およそ何時ですか？

9時前(19.0%) 9時台(51.7%) 10時台(27.6%)

Q2 朝ご飯は、毎日食べますか？

毎日食べる(89.7%) 時々食べないことがある(10.3%)

Q3 学校から帰った後、DVDやテレビを視聴していますか？

ほとんど見ない(6.9%) 1時間より少ない(32.8%)

1～2時間(39.7%) 2～3時間(10.3%)

3時間以上(10.3%)

たきおっ子 Sports Now !

9月の総合スポーツ部は、YMC Aから指導に来ていただき、陸上をやっています。走る基礎から教えていただいていて、10月3日(水)の町陸上記録会を目標に、技能を高めています。



全国学力・学習状況調査(児童質問紙)の結果より

児童への学習や生活についての質問で、以下のようなことが課題として明らかになりました。

Q 家で、学校の授業の予習・復習をしていますか？

している(9.1%) 【全国27.7】
どちらかといえばしている(36.4%) 【34.9】
あまりしていない(36.4%) 【27.3】
全くしていない(18.2%) 【10.0】

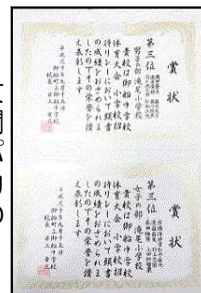
Q 学校の授業以外に、平日、一日あたりどれくらいの時間、勉強しますか？

3時間以上(0.0%) 【全国12.5】
2時間以上3時間以下(0.0%) 【16.8】
1時間以上2時間以下(54.5%) 【36.9】
30分以上1時間以下(9.1%) 【7.4】

家庭学習の内容・時間について、学校全体の課題として取り組んでいきたいと思いますので、ご家庭の協力もよろしくお願いいたします。

見事男女3位入賞！

9月15日(土)、御船中体育大会の小学校招待リレーに出場し、男女とも3位に入賞しました。練習時間もあまりない中でしたが、バトンパスもうまくでき、みんな最後まで力走しました。終了後、子どもたちの満足な笑顔が見られました。



算数コーナー(先週号の答え)

16000は、①10000と6000 ②1000を16こ ③20000-4000などです。

「水俣病から宝物を伝えるプログラム」の感想です。※4年生は、初めての水俣学習でした。

水また病のことを勉強して、水また病は、工場から水銀を海に流して、プランクトンにくっついて、それを魚が食べ、それを人間が食べてしまって水また病にかかってしまうことが分かりました。水また病にかかった人達は、手足のしびれやまひや、ひどいときには死ぬこともあるとてもこわい病気だと分かりました。魚は、ぼくたちも食べているのに、魚を食べただけでそんな重い病気にかかった人達は、とてもかわいそうだと思いました。それで差別された人もいて、差別をしたりするのはとてもいけないことだと思いました。これから水また病のことをもっとくわしく勉強していきたいと思いました。水また病は、もう二度とあってはいけない病気だと思いました。

4年 松永匠真

※5年生になったら、水俣市に行って、また勉強してください。

水また病のことを教えてもらって、すごくうれしかったし、話もおもしろかったので、すごくわかりやすかったです。5年生になってもっと教えてもらおうと思いました。

4年 星野仁葉

※患者の人達と楽しく交流できたようですね。来年また学びましょう。

私は、水また病のことをとても知りたかったから、話を聞けてとてもうれしかったです。水また病のことを教えてくれた4人の人に教えてもらったことは、わすれないようにしようと思いました。水また病が大変だということを、くやしくても教えてくれたので、ぜったいわすれてはいけないと思いました。

4年 作田唯海

※水俣病のことは、忘れずにいようね。

今日は、ほっとはうすから3人の胎児性水俣病の患者さんがお話に来てくれました。6月に集団宿泊で、語り部さんにお話を聞いたときもおっしゃっていましたが、水俣病に対しての「差別」や「偏見」などは、ぜったいにしてはならないことだと、あらためて感じました。障がいがあるからといって、親元からはなれて生活するのは、とてもつらかったんじゃないかと思います。でも、水俣病の患者さんたちは、一人一人、興味や好きなこと、特技などをもっていて、とてもすばらしいと思いました。好きなことがあることは、とても大切だと私は思います。また、私のおばあちゃんやおじいちゃんがもし水俣に生まれていたら、水俣病になっていたかもしれないということを思って、今ある命を大切にしようと思いました。

5年 上田紗智香

※「もし家族だったら…。もし自分だったら…。」と想像して考えることは、人の気持ちを考える上で、とても大切なことですね。

今日は、いろいろと三人の方々のお話を聞けてよかったです。

ぼく達は、去年水俣に行ったけど、話を聞いて、また改めて三人がとても苦しかったんだと思いました。そして、河地校長先生が水俣に生まれていたら水俣病になって、今日、滝尾小で語り部をしていたかもと聞いて、本当だなと思いました。

去年、水俣病資料館で水俣病の人達の写真を見て、とても悲しくなりました。それから今年は原爆資料館に行きます。平和のために写真を見て、しっかり学びます。

今日は、本当にありがとうございました。

6年 清水颯太郎

※命の大切さを、水俣から、そして長崎から学んでください。

「※コメント」は、河地です。